

































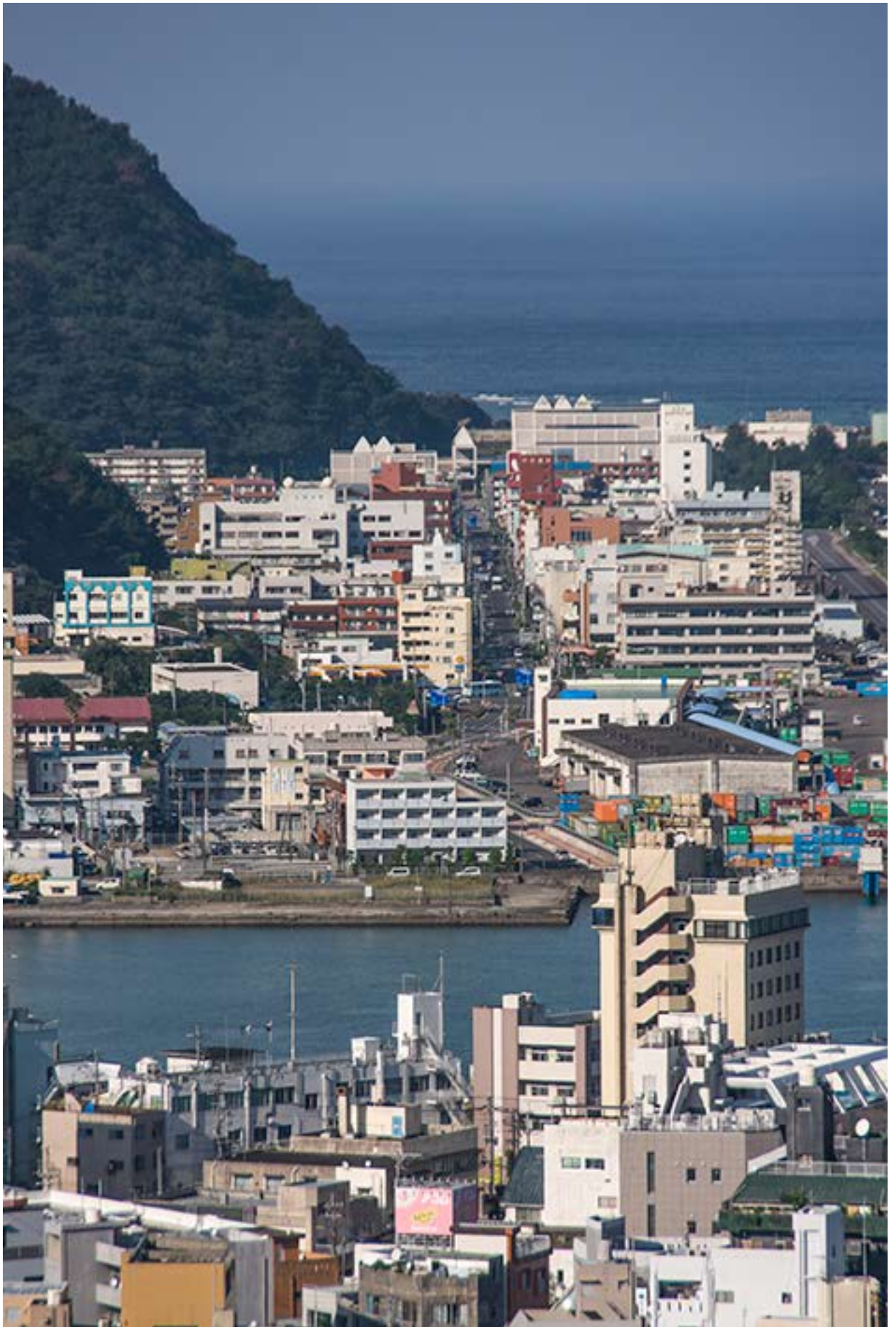


泉芳朗詩碑

わたしはただ一介後身の無名詩人  
樹間に湧く無量の感に深しほり  
地に漬つる荒草や雑草にも  
無情の声を各み  
天かける白雲に  
かたは民族波瀾の歌をまよ  
よしや骨肉ここに枯れ果つるとも  
八月の大陽は  
燈として 今 天上にある  
されば 膝を曲げ 頭を垂れて  
奮然 五体の指りをこめよう  
祖国帰心  
五臓六腑の矢を放とう  
昭和二十六年八月 一ノ瀬三郎の詩





















































名経商第一二八号

昭和二十八年十一月五日

# 紹介書

名瀬市中又三山下町二

川口貞二

右の者は数年前からシロ竹、観音竹、クロトン、チゴラン、ヘゴ、マルハチ、谷ワタリ、蘇鉄、虎尾、その他の輸向観賞用亜熱帯植物の栽培研究に専念し本市の資源開発に尽力しており現在相当量の比等観賞用植物を育成しております。このたびは現物見本を携えて敗路開拓の用務で本土に渡航しますので紹介いたします。

名瀬市長

泉 芳朗















